

今求められる地域外交とは

平成26年7月29日、日米カウンシル知事会議でアメリカを訪れた川勝知事は、スタンフォード大学アジア太平洋研究センターにおいて、同センターの上級フェローで元駐日米国大使マイケル・アマコスト、同センター副所長ダニエル・スナイダーの両氏と、静岡県が展開する地域外交の現状や意義について語り合った。

アメリカと静岡県の結びつき

知事 私は、今回スタンフォード大学で開催された「第5回日米カウンシル知事会議」に出席するためにまいりました。この会議は、4年前、ルース駐日米国大使(当時)の御尽力で始まりました。日米間の連携を、国レベルだけでなく、カリフォルニア州と日本の主要県を中心に民間レベルで促進しよう、というご提案に合意したのが発端です。

静岡県には、日米関係の出発点の下田があります。アマコストさんが大使として来日されたのは1989年ですが、下田にいらっしゃいましたか。

アマコスト氏 日本に着任して二週間に下田黒船祭に出席しました。パレードに参加するのは初めてだったので、とても感激しました。

知事 下田黒船祭は、戦争で中断した年もありましたが、70年以上の歴史があります。アメリカでもロードアイラン

ド州で30年以上にわたって黒船祭を開催しています。下田は、日米の平和と友情を築き上げた象徴の地ですね。

アマコスト氏 確かに下田は素晴らしい場所です。

スナイダー氏 静岡県とスタンフォード大学との関係では、長年にわたり、県職員を当研究センターへ派遣していただいていることに感謝しています。彼らの研究テーマからこちらが学ぶことも多いです。

当研究センターは昨年30周年を迎えました。開設当初、研究の対象地域は北東アジア、主に日本、中国、韓国でしたが、近年はアジアの他の国々の台頭により、幅広く研究するようになっていきます。

アマコスト氏と私は、安全保障や外交に興味があります。アメリカにないが日本について研究しているため、知事と意見交換できる機会はとても貴重です。

地域外交の意義と重要性

知事 20世紀末から、地方政府間の姉妹提携が急増し、国の外交関係を補完する勢いで、UCLG(都市・自治体連合)という国際組織もできています。最近では、日韓関係がぎくしゃくしている中、2014年7月25日に東京都の外添知事がソウルを訪問し、朴大統領と会談しました。安倍首相ができないことを実現したので。外添氏はそれを「首都外交」と言いましたが、私はかねてから「地域外交」と言っています。国の外交は安全保障・軍事戦略が重要ですが、地域外交は互恵・互助の精神による友好が基本です。

静岡県は中国の浙江省と友好協定を結び、2012年に30周年を迎えました。これを記念して、静岡県と浙江省との間で相互に交流団を派遣する予定でしたが、当時、尖閣諸島の国有化問題で日中関係が冷え込み、浙江省から受入

延期の申し入れがありました。しかし、「私は、浙江省の友人との交流のために訪中するのであって、国家間関係とは一線を画してまいります」と伝え、その1ヶ月後に浙江省を訪問しました。すると、現地の人々は、旧友のように「よく来てくれました。本当にありがとう」と熱烈に歓迎してくれました。来月には、静岡県・浙江省友好交流卓球大会を行います。

スナイダー氏 浙江省は、中国ビジネスの都である杭州市があるところですね。とても良いパートナーだと思います。

知事 とても良い関係です。友好的な平和交流を基礎とする地域外交は、国家間の緊張関係を補完します。モンゴルのドルノゴビ県と友好関係をもっていますが、モンゴル政府と経済協力の覚書を交わすまでになりました。

韓国とも、静岡県はソウルの南に位置する忠清南道と友好提携を結んでいます。こうした地域交流は、国家間の

外交に貢献できます。

アマコスト氏 韓国を訪問した際、竹島問題が話題になることはありませんか。

知事 それは領土問題なのでとりあげません。私が訪韓したときは、韓国の国会議員が、国会内を案内してくれるほど好意的でした。人と人との関係が基礎であり、そこには無限の可能性ががあります。互いに信頼があれば、様々な問題が解決できます。

またそれぞれの地域に独自の遺産や「場の力」があります。例えば、静岡県では今年6月、韓国の大統領関係者を招いてお茶会を開きました。江戸時代、朝鮮王国から派遣された最初の朝鮮通信使をお茶会でもてなした故事に倣ったものです。「茶の都」静岡県ならではの友好の演出ができました。

地域レベルの交流を推進するという意味では、今回の日米カウンシルの会議も同じです。会議開催を働きかけたルース前駐日米国大使も同じ考えでした。地方政府同士の交流では、カリフォルニア州に加え、今ではハワイ州に広がりを見せています。

アマコスト氏 ハワイ州と何か交流を進めているのですか。

知事 2年前の2012年8月に、ハ

ワイ州と「クリーンエネルギー」の導入を推進するための覚書」を結びました。米軍基地の多いハワイ州は、大量のエネルギーを必要としており、それをまかなう方法として新しい再生可能エネルギー技術の導入を進めています。本県も再生可能エネルギーの導入などを推進しているので、お互いに協力できると思います。また、食のビジネス面でも交流できる可能性がります。ここでも国から独立して、州と県の交流を進めています。

スナイダー氏 当センターでは北東アジア、中でも極東ロシア、中国の北東地域、韓国、日本の日本海側の県を対象に、国境を越えた結び付きや地方政府間の交流について研究しています。国と国との関係では見えなかった人やモノの移動、あるいは融合があることがわかってきました。

知事 草の根の交流は拡大していると思います。外交における地方政府の役割も高まっています。それを促進するために、国内では地域の自立、地方分権を推進すべきです。安全保障、外交、通貨管理は国の役割ですが、教育やインフラ整備、福利厚生などの内政は、地域の役割として請け負うことができます。

静岡県の観光

アマコスト氏 地域間の交流では、観光も大きな意味を持っていると思います。日本を訪れる観光客は、中国人が大きな割合を占めています。靖国神社参拝などが問題になることはありませんか。

知事 中国から多くの方が観光で日本に来られています。中国でも、国家間ではもめていても、一人一人は友人になり得ると考えています。観光などをとおして、友人をつくり、関係を広げることができます。相手国に友人がいると思えば、その国とは戦いをしたくはなくなりません。

アマコスト氏 興味深いお話です。台湾から多くの観光客が訪れているそうですね。

知事 静岡県では、5年前の2009年に空港が開港しました。静岡ー台湾間は現在週4便就航しており、搭乗率は約70%に上ります。

スナイダー氏 国際空港なのですか。

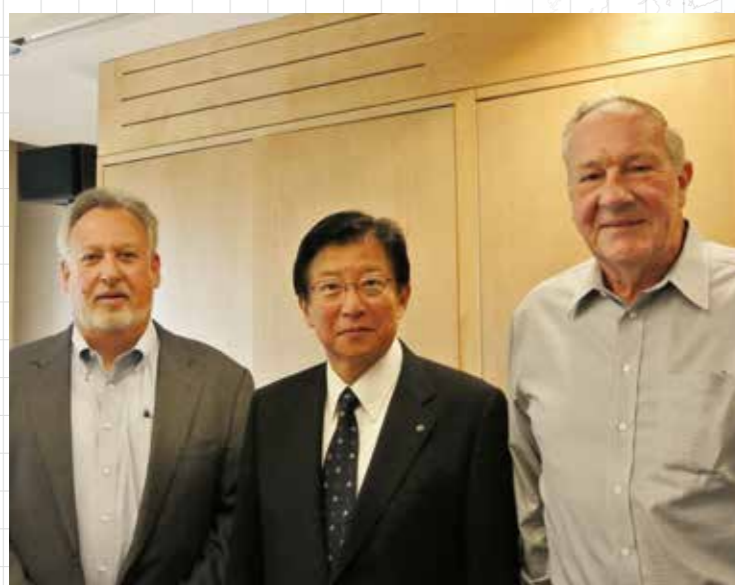
知事 中国、韓国、台湾への定期便があります。ハワイなどへチャーター便が飛ぶこともあります。

スナイダー氏 静岡県の経済において、観光は重要な位置を占めている

のですか。

知事 本県には富士山、南アルプス、伊豆半島、浜名湖など魅力的な観光資源が多くあり、国内外から、年間延べ1億人以上の方が訪れます。観光産業は、平和があつてはじめて成り立つ産業です。多くの外国の方々に訪れていただき、世界遺産「富士山」の良さを知ってもらいたいと思います。

アマコスト氏 知事の考える外交政策「地域外交」の考え方は素晴らしいと思います。これからも応援しています。



マイケル・H・アマコスト氏

1937年4月生まれ。駐フィリピン米国大使、アメリカ国務次官などを経て、1989年、駐日米国大使に就任。1993年の退任後、ブルッキングス研究所長を務め、現在はスタンフォード大学アジア太平洋研究センターの上級フェローとして活躍。学歴はコロンビア大学 公法、行政学博士号取得。

ダニエル・C・スナイダー氏

1985年～1990年、全米紙のクリスチャン・サイエンス・モニターの東京特派員、1990年～1994年、同紙のモスクワ支局長を経て、サンノゼ・マーキュリー・ニュース紙編集長を務める。現在はスタンフォード大学アジア太平洋研究センターの副所長。学歴はコロンビア大学 東アジア歴史学学士号、ハーバード大学ケネディスクール卒業。